

ひきじだい

令和5（2023）年3月 1日
弥生（3月）号

大和市長
引地台小学校

卒業式、修了式に向けて

校長 箱崎 勝美

今年の冬は大変寒く感じられました。1月は、最高気温が10度以下の日が多く、2月に入ってからも、同じような厳しい冬の日が続きました。しかし、天気予報では、「今週から気温が高くなり、春らしくなる。」とのこと。「春らしくなる。」と言えば、先日の朝の登校指導の時に、たんぽぽ級の畑で、菜の花が咲いているのを見つけました。寒さの中にも、春の気配を感じました。気がつけば令和4年度も残すところ1ヶ月となりました。今まで教育活動にも、ご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。



3学期は、政府の感染予防ための行動制限が発出されなかったため、授業参観、茶話会、懇談会を行うことができました。参観していただいた保護者の皆様に、子どもたちの成長した姿を見ていただくことができ、うれしく思います。

さて、成長したと言えば、冬でも青々としている竹を思い出します。竹は、雪の重みにも強い風にも耐え、空に向かって真っ直ぐに成長します。そして、何百キロに及ぶ風の力を、反り返って跳ね返す、しなやかさをもっています。その力の秘密は、軽さと強さを合わせ持つ規則正しい間隔の節目にあります。竹は、種から発芽するまで4年以上かかり、その間、地下で1年間に7m～8mもの根を張って、地上の竹の支える準備をするそうです。やがて芽を出した竹は、節目ごとに成長点をもつことで、1日に80～100cm成長して、2ヶ月で20mにもなります。



目に見える成長とともに、目には見えない支える力が働いていることは、私たちの生き方に大きなヒントを与えてくれます。その竹の姿は、子どもたちが目標に向かって頑張ろうとして、辛抱強く取り組む姿そのものです。自分を支えてくれる周りの人に感謝の心を持って欲しいと願います。

6年生は、今月の3月20日（月）に卒業式を迎え、各学年は、修了式が行われます。仲間たちと笑顔で卒業して欲しいと願っています。1年生～5年生の子どもたちも、元気で3月24日（金）の修了式を迎えることを願っています。3月もどうぞよろしくお願いいたします。

【3月20日（月）卒業式におけるマスクの取り扱いについて】

卒業式におけるマスクの取り扱いについて県・市教育委員会からの「基本的な考え方」「留意事項等」は、次の通りです。

- 卒業式の教育的意義等を考慮し、卒業生については式典全体を通じて、マスクの着用を求めない。
- 教職員については、式典全体を通じて、マスク着用を促す。
- 保護者、来賓については、式典全体を通じて、マスクの着用などの基本的な感染防止対策への協力を求める。
- 卒業生は、国歌や校歌、その他の歌を歌う際は、マスクの着用を促す。
- 壇上で、校長や児童が、式辞、祝辞等を述べる際は、周囲の者と十分な距離が確保できることから、マスクの着用を求めない。
- また、クラス担任が卒業生を呼名する際は、周囲の者と十分な距離を確保の上、マスク着用は求めない。

本校でも、上記のようにマスクについての「基本的な考え方」「留意事項等」を踏まえて、換気などにも気をつけて、6年生の笑顔が見える卒業式にしたいと思います。

